

第4学年2組 社会科学習指導案

指導者 鈴木 真弓

1 日 時 令和元年 11月 6日(水) 5校時

2 単 元 名 「きょう土の発てんにつくす」

3 単元の目標

- 地域の発展に尽くした先人の働き、努力や苦心について関心をもって、意欲的に調べ、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 当時の世の中の課題や人々の願いに着目して、地域の発展に尽くした先人たちの働きや苦心、工夫と努力などを調べ、先人の働きと当時の人々の生活とを関連付けて自分の考えを表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 地図や資料から読み取った、先人の功績、苦心、工夫、努力、思いなどを年表や白地図、パンフレットにまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 先人たちの働き、努力や苦勞によって、広く当時の人々の生活が向上し、今のわたしたちの生活につながっていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

4 単元について

本単元では、地域の発展に尽くした先人の働きや努力、苦心が、地域の人々の生活の向上に影響を及ぼしてきたことを、資料を活用して具体的に考え、地域に対する愛情を育てる単元である。

学区内を流れ、日頃から身近に感じている天竜川は、かつては「あばれ天竜」とよばれ、多くの命を奪い、人々を苦しめていた。そこで天竜川の治水に努めた金原明善を取り上げ、地域の発展に尽くした先人の働き、努力や苦心について考えていく。金原明善とともに、天竜川の治水に協力していた松島十湖は、本校との関わりが深く、子供たちにとって身近な存在であり、俳人として全児童が知っている。単元の学習問題に取り組む学習活動の導入では、松島十湖を取り上げ、二人の関係性から、天竜川の歴史に興味をもたせるようにする。

単元後半では、浜松市には地域の発展に尽くした先人が多くいることを知り、どのような業績を残したか調べ学習を行い、自分が特に興味をもった先人をパンフレットにまとめる活動をする。地域の人々の願いを受け、地域の人々の生活をよりよくしようと、発展に尽くした先人の働きや努力、苦心について資料や本から読み取り、理解させたい。また、先人の工夫、努力を知り、それが今のわたしたちの生活につながっていることを理解することで、地域に対する誇りや、郷土を愛する思いを実感させたい。

5 児童の実態

本学級の児童は社会科の学習への意欲は高いが、受け身になりがちで、事象について疑問をもったり、背景を考えたりという子は少ない。また交流活動では、自分の考えをもち、伝えることはできるが、友達の考えを受け入れたり、考えを深めたりというところまではできていない。

社会科の「住みよいくらしをつくる」の学習では、安全な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理をする事業が、地域の人々の健康で安全な生活環境を維持し、向上させるために重要であると理解してきた。ダムの仕組みや、森林が大切な役割をもっていることも知った。9月には、大原浄水場と西部清掃工場の見学をし、わたしたちのところに安全な水が届くまでには多くの過程があること、わたしたちが衛生的に生活できる裏には、多く

の人の支えがあることを学んだ。自分たちの生活に密接した内容だったため、多様な工程を興味深く見学したり、安全な水を届けるためにどのような苦労があったか質問したりと意欲的に取り組んだ。また、見学後には「水を大切に使用したい。」「ごみを減らすために、マイバックや水筒を持って出かけた。」など自分の家庭生活について振り返った。

6 単元活動計画（全11時間）

主な学習活動	評価の観点	時間
○ 昔と今の生活の違いを比べて変化したことを話し合い、学習計画を立てる。	関 昔と今で大きく変化したことに気づき、浜松市の発展につくした人々の働きに関心をもとうとしている。	1
○ 古くから何度も洪水が起こり苦しんできた人々の願いを考える。	思 当時の人々の苦労を資料から読み取り、人々の願いを考えている。	(本時) 1
○ 学習問題を立てる。 「あばれ天竜は、なぜ、現在の穏やかな川に変わったのだろう。」	関 単元の目標を理解し、学習問題を作ることができる。	1
○ 明善が行った堤防作りの苦労や方法について資料から読み取る。	技 堤防作りの苦労や方法について資料から読み取っている。	1
○ 上流の植林について資料から読み取る。	技 上流の植林について、森林の役割を踏まえて考えている。	1
○ 疎水事業について考える。	技 疎水事業について、当時の洪水の被害を押さえながら考えている。	1
○ 金原明善の努力がわたしたちの生活につながっていることを理解し、明善の思い、功績、人々の願いについて調べたことをパンフレットにまとめる。	知 金原明善の努力、苦労、努力、思い、功績、人々の願いについてパンフレットにまとめている。	1
○ 自分で選んだ先人について資料を読み取り、人々の願い、苦労、努力、思い、功績について調べ、同じ先人を調べた友達と交流する。	技 自分で先人を選んで、資料から調べることができる。	2
○ 調べたことをパンフレットにまとめる。	技 自分で調べた先人について、苦労、努力、思い、功績、人々の願いをパンフレットにまとめている。	1
○ 先人の努力がわたしたちの生活につながっていることを理解し、自分で選んだ先人の苦労、努力、思い、功績、人々の願いや、地域に対する自分の思いについて友達と紹介し合う。	思 自分で選んだ先人の苦労、努力、思い、功績、人々の願いについて、ちがう先人を調べた友達に紹介し合い、先人の業績などが人々の生活の変化につながっていることを考えることができる。	1

7 本時の指導 (2 / 1 1 時間)

(1) 本時の目標

天竜川が何度も氾濫し、何度も洪水が起こり苦しんできた人々の願いについて、当時と今の地図の比較や氾濫回数を調べる活動を通して話し合うことで、考えをまとめることができる。
(社会的な思考・判断・表現)

- (2) 準備 教師 天竜川の流れの分かる地図、年表、氾濫する様子の写真
児童 ワークシート、付箋

(3) 展開

学習活動と予想される児童の表れ	○支援 ◆ <u>研修に関わる支援</u> [] 評価
<p>1 前時から、天竜川の流れが変化していることを振り返る。</p> <p>○天竜川はどのように変わりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔はいろいろな方向に流れていた。 ・今は大きく太い川になった。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>天りゅう川の近くにくらす人々は、どのような思いをもっていたか考えよう。</p> </div>	<p>○前時に立てた学習計画を確認しながら、本時の活動の見通しをもつ。</p> <p>○天竜川の流れの変化に気付かせるために地図を提示する。</p>
<p>3 洪水の規模を表す地図から当時の氾濫の様子を予想する。</p> <p>○氾濫した様子の地図を見て、気付いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲に氾濫が起きている。 ・どこから氾濫するか分からない。 ・安心して住めるところがない。怖い。 ・豊西小があるところも水がきている。 	<p>○川が氾濫するということの恐ろしさをつかむために、鬼怒川の決壊の様子や、西日本豪雨による浸水の様子の写真を提示する。</p> <p>○洪水の規模が大きいことが分かるように、範囲を色づけする。また、学区の位置を地図上で確認して豊西地区も氾濫したことを押さえ、本時のめあてを身近なこととしてとらえる。</p>
<p>4 表から、氾濫が起きた回数を読み取る。</p> <p>○表をみて、どのようなことが分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も氾濫が起きている。 ・1年に何回か氾濫が起きている年もある。 	<p>○表から読み取らせるために、20年毎に何回氾濫していたかが示されていることを押さえる。</p>
<p>5 当時の人々の願いについて考える。</p> <p>○当時の人々はどんな思いで過ごしていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家が流されてしまうなんて怖い。 ・毎日おびえていたと思う。 ・安心して暮らしたかったと思う。 	<p>○氾濫にあった豊西地区にも人々が住み続けていることを例に挙げることで、地域への愛着を感じ取らせたい。</p> <p>◆<u>付箋を使って類型化しながらグループで話し合うことで、人々の願いに対する多様な考えに触れる。</u></p>

<p>○何度も氾濫しているにも関わらず、なぜ 住み続けるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで過ごしてきたところから離れたくない。 ・稲作をするためには水がどうしても必要だから。 <p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○考えの共通点から、川の氾濫への恐怖や、 それでも住み続けたいという地域への愛着、 安心して生活できることへの願いを取り上げ、 本時のまとめへとつなげる。</p>
<p>当時の人々は、何度も起こる天りゅう川の氾らんにおびえながらくらし、安心して生活できることをねがっていた。</p>	<p>当時の地図や資料から調べる活動を通して、 天竜川が何度も氾濫し、苦しんできた人々の 願いを考えることができたか。 (ワークシート)</p>
<p>○今日の授業の感想や、もっと知りたいことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の天竜川はこんなに穏やかなのに、昔はこんなにも人々を苦しめていたことに驚いた。 ・川の氾濫は怖いけれど、今住んでいる地域を離れることも嫌だから、昔の人がどのように乗り越えたか知りたい。 	<p>○単元計画を示し、次時の活動が学習問題作りであることを確認する。</p> <p>◆<u>次時の学習問題作りにつながるように、振り返りの視点を示す。</u></p>

8 社会科研究部研究の観点から

(1) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善

① グループでの対話を通じた関わり合い

本単元では、友達考えを受け入れたり、考えを深めたりするために意図的に話し合う場面を設定する。その際、現在と過去を比較する資料を提示したり、児童にとって身近な地域の資料を活用したりすることで、視点を明確にした話し合いができるような支援をする。また、付箋を使って類型化しながらグループで話し合う活動を取り入れ、当時の人々の願いについての多様な考えに触れられるようにする。

② 深い学びにつながる問いの工夫、主体的な学びにつながる振り返り

事象について疑問をもったり、背景を考えたりできるようにするために、疑問をもつことができるような資料を精選し、提示する。資料を見る視点を明確にする発問を工夫することで、調べて得た情報を基にして、問いを焦点化し、話し合う必要感をもたせたい。そして、授業の終末では、振り返りの視点を示すことで、次時の学習問題作りにつながるようにしていく。また、単元の見通しがもてるよう、学習計画を作成し、掲示する。